



## <CONTENTS>

《特集》

長崎大学  
医学部創立150周年 2

《留学生のキャンパスライフ》

ニー・ライミナ さん  
(カンボジア王国) 8

《We Love Circle》

長崎大学 落語研究会 9

《いいたか放題》

長崎県高等学校長協会会長  
寺田隆士 さん 10

《フィールド通信》

ケニアの空の下で 12

《自然災害を考える》

長崎の安全と安心  
～地震～ 15

《長大ニュース》

18

《古写真・はし万華鏡》

濃尾大地震  
(東海道本線長良川鉄橋)(21) 20

《インフォメーション》

21

《編集後記》

21

◎本紙記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌CHOHO〇号から」と明記してください。学外の方は、事前に広報企画委員会までご連絡願います。

## 学長コラム

### 大学のポテンシャルと ランキングとの関係

昨年11月に、学生主催の学園祭(第38回長大祭)が盛大に行われました。学生諸君が企画する「学長とのしゃべりの場」があり、率直な意見交換を毎年行っています。私は学生に質問を二つ投げかけました。

「全国705校の国公私立大学ランキングで、長崎大学は何番ぐらいだと思っ？」ところが、学生は申し訳なさそうにしている、なかなか答えられません。「遠慮しないで、思っているところを正直に言っごらんですよ。」半ば勇気をふりしぼってという様子で出てきた答えは、「真ん中よりは下ではないですか？エート、400番くらいですか？」「エエッ!？」と私は思わず声を上げてしまいました。

なぜ、この質問を学生にしたかということ、先日、世界レベルの大学ランキングが発表されたからです。世界で最も有力な高等教育誌の一つであるイギリスのTHE S(The Times Higher Education Supplement)誌「ならびに世界の高等教育や専門職向け就職情報を専門に扱うQS(Quacquarelli Symonds)社が共同で行った「世界トップ大学5000ランキング07」で、長崎大学は世界で273位、国内14位でした。昨年の同調査では世界277位、国内18位だったので、今年の成績はブロックではありません。長崎大学は日本で400番どころか、世界でもベスト300に

## 養生所・医学所の由来

1857年11月12日(安政4年9月26日)、Dr. Johannes L.C. Pompe van Meerdervoort は、長崎奉行所西役所(現在の長崎県庁所在地)内において、日本で最初の西洋医学の講義を始めた。長崎大学医学部誕生の日である。Pompe は、間もなく大村町11番地(現在の長崎家庭裁判所所在地)に設けられた医学伝習所に移り、医学の講義を続けていたが、臨床医学の実習に必要な病院の設立を強く懇請していた。幕府もその建議を容れ、小島郷字佐古(現在の佐古小学校所在地)に洋式病院の養生所を、またその西隣に医学所を建設した。

1861年8月6日(文久元年7月1日)に落成式、同年9月20日(8月16日)に開院式および開校式が行われた。日本の国旗が養生所の東棟南端に、また三色のオレンジ国旗が西棟南端に翻り、ここに Pompe が希求していた医学校が完成したのである。

長崎大学長 **齋藤 寛**  
Saito Hiroshi

追伸：  
学長メッセージ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>)にもアクセスしてご意見をください。  
[メールアドレス]president@ml.nagasaki-u.ac.jp  
必ずお返事します。



入っている大学なのです。

もちろん、私は「ランキング至上主義者」ではありません。ランキングは、実施する側にさまざまな意図があります。評価基準もさまざまなので、「ランキングで上位になることが善く、下位にいるのが悪だ」という発想は短絡的だと思つたのです。大学の個性を埋没させ、組織がもつ科学の創造のための多様性を否定しかねません。

では、なぜここでランキングの話題を取り上げるのかというと、それは、過小評価されがちな中規模大学、とりわけ地方の大学が、実は高いポテンシャルを持っていることの「証し」にはなるからです。旧帝大・大規模大学だけが高いポテンシャルを持つ「世界拠点大学」ではないのです。

THESES・QSによる大学ランキングでは「教員一人あたりの研究業績」、また「教員一人あたり学生数」、「留学生比率」など、大学の規模によらない数値も採用しており、予算規模、教員数、学生数などが多い大学が有利になるような指標をできるだけ排除しようとしているところに特徴があります。日本の大学に限って順位をみると、東大(17位)、京大(25位)、阪大(46位)、東工大(90位)までが世界ランキング100位以内(4大学)、東北大(102位)、名大(112位)、九大(136位)、北大(151位)と150位まで旧帝国大学が続いています。その後、慶大(161位)、早大(180位)と「私学の雄」が名を連ね、神戸大(197位)までが200位以内(11大学)になっています。そして、筑波大(209位)、広島大(212位)の次に、わが長大が273位(国内14位)でランクインしている状況です。

長崎大学より上位は全て学生数1万人を超える大規模大学であり、かつ所在地が大都市(大都市圏)にあります。地方大学としては長崎大学がトップであることを私は誇りに思います。大学の価値は入試偏差値で決定されるのではなく、当該大学が「学生教育にどれだけ真剣であるか」と、学生が獲得する「学びを成果」の2点が重要であると私は信じています。

昨年12月11日、文部科学省から国立大学教育学部(教育大学を含む)全48校の平成19年3月卒業生教員採用率が発表されました。長崎大学は全国4位(70.2%)でした。平成14年度は31位(47.4%)、同15年度20位(56.5%)、同16年度11位(61.2%)、同17年度7位(65.2%)と、年々採用率は向上しています。教育学部は教員養成に特化している学部です。このランキングは教育学部学生の「学びの成果」を明示していると思いませんか？